

第129回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和2年12月19日（土）午前10時30分～正午
- 会 場 静岡県地震防災センター2階ないふるホール（静岡市葵区駒形通5丁目9-1）

テーマ 「新型コロナ時代の健康づくりと災害への備え」

講 師 浜松医科大学 医学部 医学科 健康社会医学講座

教授 尾島 俊之 氏

（講演概要）

コロナ禍で、災害支援活動や健康づくり活動などに躊躇される面があるが、必要なことは実施する必要がある。コロナ禍での活動は、自動車の運転と似ている。また、コロナ禍での災害には、分散避難を推進し、在宅避難者や臨時の避難所への支援を充実させることや、避難所において健康チェックとゾーニング（居住区分）を行うことが重要である。新型コロナは、「とぶ」「さわる」「ただよう」により感染するため、感染機序を考慮して対策する必要がある。

